

2023年(令和5年)11月15日(水曜日)

電波新聞

全世界デジ・アナ対応テーマ

地デジ高度化など訴求

営 電

営電は、長年培ってデジタル技術により、きた高周波アナログと「全世界デジタル・アナログ放送方式対応」

Vステーション(1708A)とスペアナを接続したデモを実施する。

TV放送局向け製品では、送信機のC/N

ナログ放送方式対応」をテーマに、放送・通信分野における業務用電送機器の多彩な製品を展示する。

ブースでは、将来を見据えた地上デジタルテレビジョン放送方式の高度化技術への取り組みを訴求する。2019年から実施している地上デジタルテレビジョン放送方式の高度化に向けた実証実験で使用された「地上放送高度化再多重化試作装置(0416A)」

「地上放送高度化試作変調器(0428A)」インパルスノイズ信号発生器(1908A)」「MMT・TL710A)」、既存放

「パケット補完機能付きTS調整装置(2733D)」、NSIの生成と放送TSへの重量ならびにACデータへの付加を行う装置も新しくなっている。

「RF信号(電波)」の記録と再生が可能なRFキャプチャー&プレーヤーのラインアップとして「小型RFキャプチャ&プレーヤー

を接続することが出来るため、長時間のTSコンテンツを变調し、RF出力ができる。

ラジオ放送局向け製品としては、「FMラジオモニタ/アナライザ(6042B)」をAM復調オプション搭載可能として披露。

FM直線検波器とステレオ復調器・変調器を1筐体(きょうたい)で実現し、FM送信機

の各種特性が測定可能だ。自動測定用PCアプリやIF(10・7MHz)入出力をオプションで搭載可能だ。

AM/FM放送波を受信・復調しアナログ音声信号を出力可能な無線中継用受信機「AM/FMラジオ無線中継用受信機(6001A)」も初出展する。

RF信号(電波)の記録と再生が可能なRFキャプチャー&プレーヤーのラインアップとして「小型RFキャプチャ&プレーヤー

を接続することが出来るため、長時間のTSコンテンツを变調し、RF出力ができる。

ラジオ放送局向け製品としては、「FMラジオモニタ/アナライザ(6042B)」をAM復調オプション搭載可能として披露。

FM直線検波器とステレオ復調器・変調器を1筐体(きょうたい)で実現し、FM送信機

の各種特性が測定可能だ。自動測定用PCアプリやIF(10・7MHz)入出力をオプションで搭載可能だ。



信号発生器「DTV信号発生器(SSR5000B)」

